



株式会社ワッツ(2735 東京証券取引所市場第一部)

2014年8月期 第2四半期決算について

2014年4月14日(月)

代表取締役社長

平岡 史生



目次



2014年8月期 第2四半期連結決算と
通期計画の進捗状況について P 2 — P 16

2014年8月期業績予想及び
中期事業計画(2014年～2016年)について P 18 — P 28

(参考資料) P 30 — P 41

(単位:百万円)

	2013年8月期 第2四半期		2014年8月期 第2四半期(当期)			
		構成比		構成比	前年同期比	計画比
売上高	20,500	—	21,545	—	105.1%	99.5%
売上総利益	7,910	38.6%	8,186	38.0%	103.5%	—
販売費および一般管理費	6,695	32.7%	7,280	33.8%	108.7%	—
営業利益	1,215	5.9%	906	4.2%	74.5%	94.4%
経常利益	1,215	5.9%	905	4.2%	74.5%	96.3%
当期純利益	724	3.5%	480	2.2%	66.4%	92.5%
1株当たり当期純利益(円)	57.27		35.50		62.0%	86.6%

(注) 1. 予想は、2013年10月11日に公表した2014年8月期業績予想値

2. 2013年3月1日に1:2の株式分割を実施しているため、1株当たり当期純利益は遡及処理後の数値を記載

- ☑ 新規出店の早期化と海外事業の拡大等により、売上高は前期比5.1%増
- ☑ 円安の影響、海外をはじめとした卸売比率の増加、食品比率の比較的高い大専の加入等を主因とし、売上総利益率は0.6ポイント悪化
- ☑ 出店コストがかさんだことを主因とし、販管費率は1.1ポイント悪化。利益は伸び悩み

国内事業の更なる拡大

- ✓ 国内100円均一ショップ「ミーツ」「シルク」を70店舗出店(30店舗閉鎖)し、上半期純増40店舗を達成(計画比11店舗の超過達成)
- ✓ 唯一店舗のなかった山梨県(富士吉田市)に出店し、全47都道府県をカバーする体制が完成(2013年12月)
- ✓ ナチュラルファッション雑貨を扱う「ブォーナ・ビィータ」の出店ペースを加速し、6店舗出店した結果、計23店舗に増加(通期純増計画を前倒し達成)
- ✓ 当社の100%子会社で、中国からの商品調達を手掛ける(株)シーエムケー・トレーディングを、商品開発力の強化を目的として、2014年5月1日付で当社に吸収合併することを発表(2014年1月)

海外事業の更なる進展

- ✓ 中国: 上海に当社100%出資子会社の「上海望趣商貿有限公司」を設立(2013年9月)
上海に3店舗目の店舗を出店(2013年12月)
- ✓ タイ: 昨年現地総合小売最大手のセントラルグループの子会社と合併化した、60バーツ均一ショップ「こものや」を4店舗出店し計12店舗体制となる(通期純増計画を前倒し達成)
- ✓ マレーシア: クアラルンプール近郊にて、5リングット均一ショップ「こものや」第一号店を出店(2013年11月)
- ✓ ベトナム: ホーチミンにて、当社の商品を専門に扱い、店舗のデザインや陳列等のノウハウを提供して、40千ドン均一ショップ「こものや」第一号店を出店(2014年1月)
- ✓ 卸売ではミャンマー、ニュージーランド向けを新たに開始(2013年11月)



企業価値拡大への取組・株主還元向上

- ✓ 2013年8月31日付の保有株式数に応じ、当社のプライベートブランド商品「ワッツセレクト」の詰め合わせをお届けする株主優待制度を創設(2013年12月発送)
- ✓ 株式会社東京証券取引所より、当社株式の2014年3月7日付での市場第一部銘柄指定の承認を取得(2014年2月)

第二四半期連結会計年度末以降の事象

- ✓ 昨年6月に買収した、当社の100%子会社で中四国地方にて100円均一ショップを展開している(株)大専を、統合効果を一層高めるために(株)ワッツオースリー販売の中四国エリアと一体運営すべく2014年9月1日付で組織再編を実施することを発表(2014年4月開示)
- ✓ 海外事業において、新たなステージとして中南米への進出をにらみ、ペルー共和国において販売の拠点となる現地法人の設立を発表(2014年4月開示)

事業部門別売上高の状況

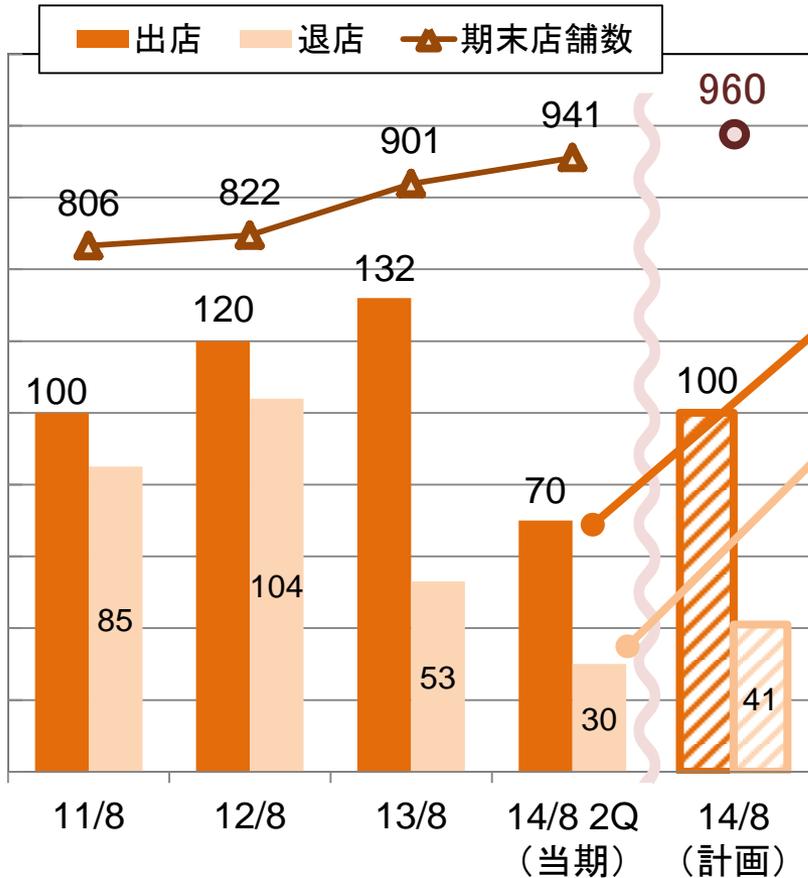
(単位:百万円)

		2013年8月期 第2四半期		2014年8月期 第2四半期(当期)		
			構成比		構成比	前年比
100円ショップ	直営	17,034	83.1%	18,227	84.6%	107.0%
	卸その他	1,979	9.7%	2,026	9.4%	102.4%
海外事業	直営	169	0.8%	38	0.2%	23.0%
	卸	25	0.1%	187	0.9%	730.8%
その他	BuonaVita	1,291	6.3%	1,064	4.9%	82.4%
	バリュー100					
	あまの					
	その他					
合計		20,500	100.0%	21,545	100.0%	105.1%

- ☑ グループ売上高の中心は、これまでどおり100円ショップの直営部門
- ☑ 海外事業では、Thai Watts Co.,Ltd.が合併会社化により直営から卸売に変更
(ご参考) Thai Watts Co.,Ltd.は、小売ベースでは225百万円と順調に拡大
- ☑ その他、BuonaVitaが伸びるもシーエムケー・トレーディング、あまのが伸び悩む

第2四半期末店舗数は、941店舗（直営889 FC52）

100円ショップの店舗数推移



出退店計画と実績

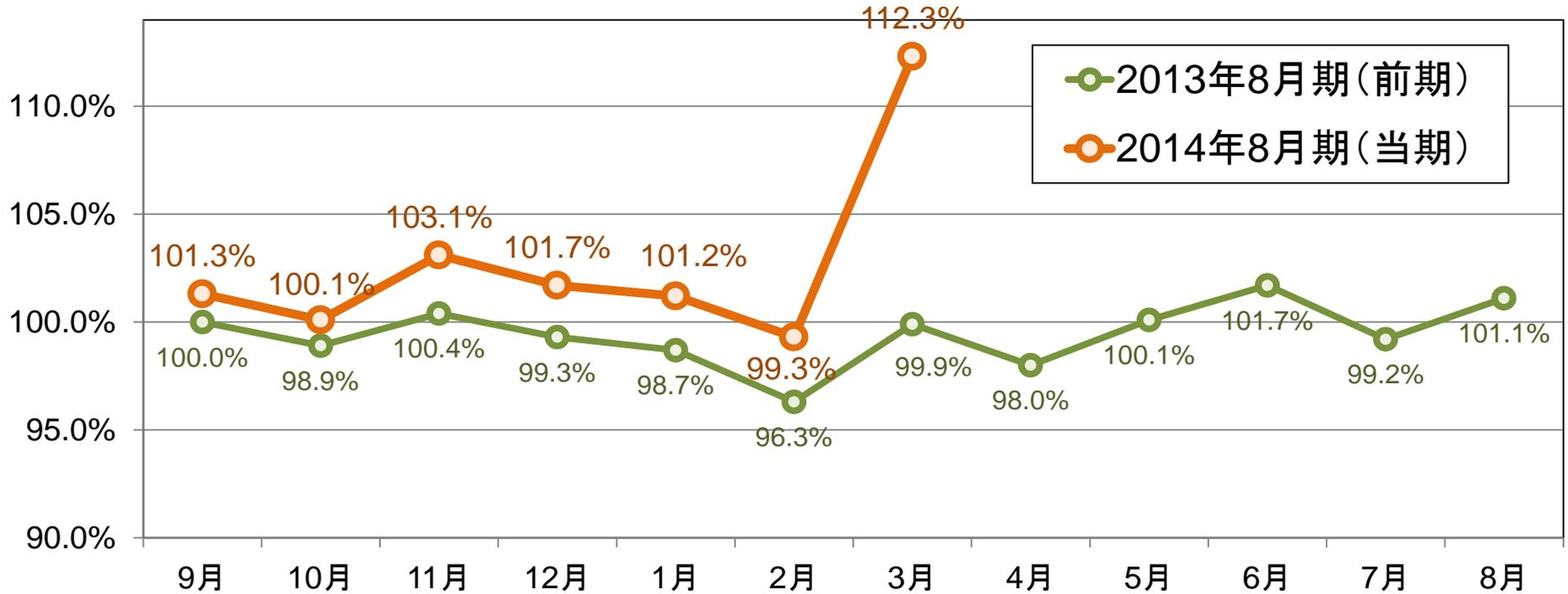
出店計画 100店舗 → 70店舗増加

閉鎖計画 41店舗 → 30店舗減少 (内FC1店舗)

- ✓ 上期計画 出店→55店舗、閉鎖→26
- ✓ 計画比前倒しで出店したため、売上への寄与大しかしながら、そのぶんコストが嵩み、利益は圧迫

※ 足許2014年3月は出店12、退店7

既存店売上高伸び率 101.2% ← (13年8月期2Q 98.9%)



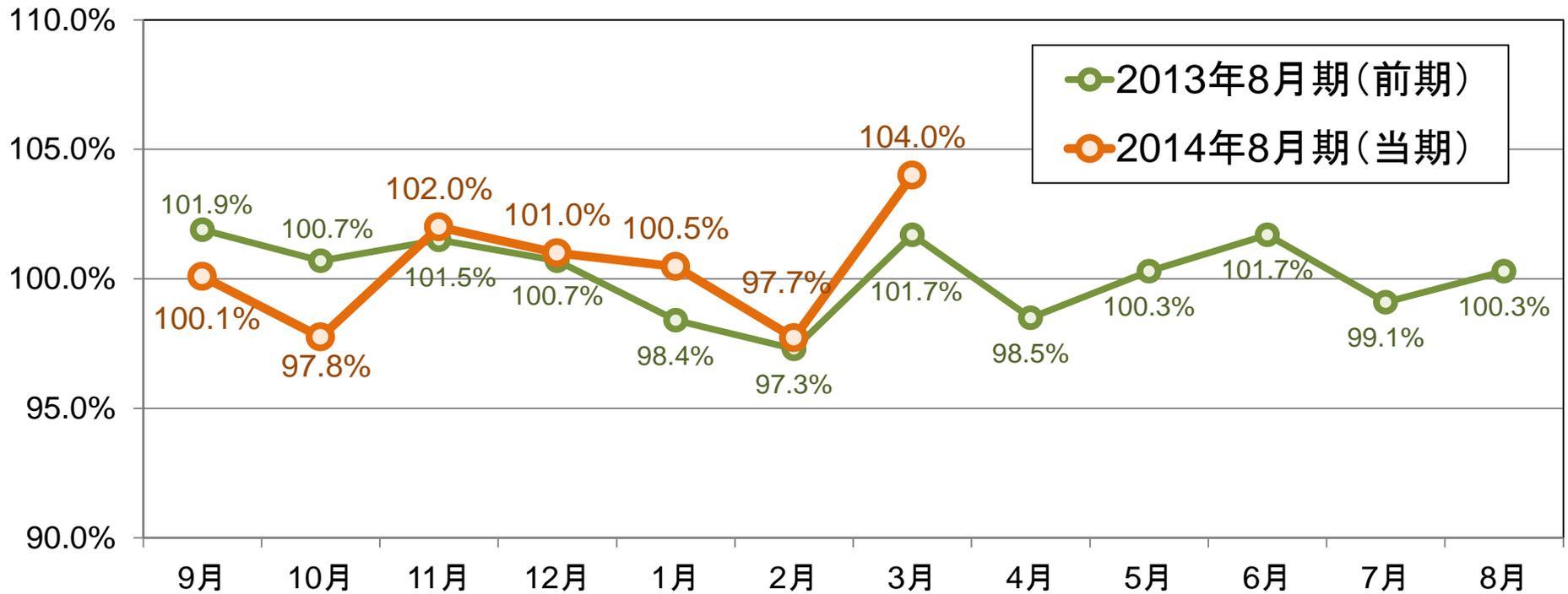
	上期	下期	通期
2013年8月期 (前期)	98.9%	100.0%	99.5%
2014年8月期 (当期)	101.2%	-	101.2%

✓ 2月度に記録的な大雪の影響で100%を割り込んだものの、上期101.2%と好調

※ 足許2014年3月は、消費増税前の駆け込み需要も寄与し、112.3%

100円ショップ 直営既存店客数伸び率

既存店客数伸び率 99.9% ← (13年8月期2Q 100.2%)

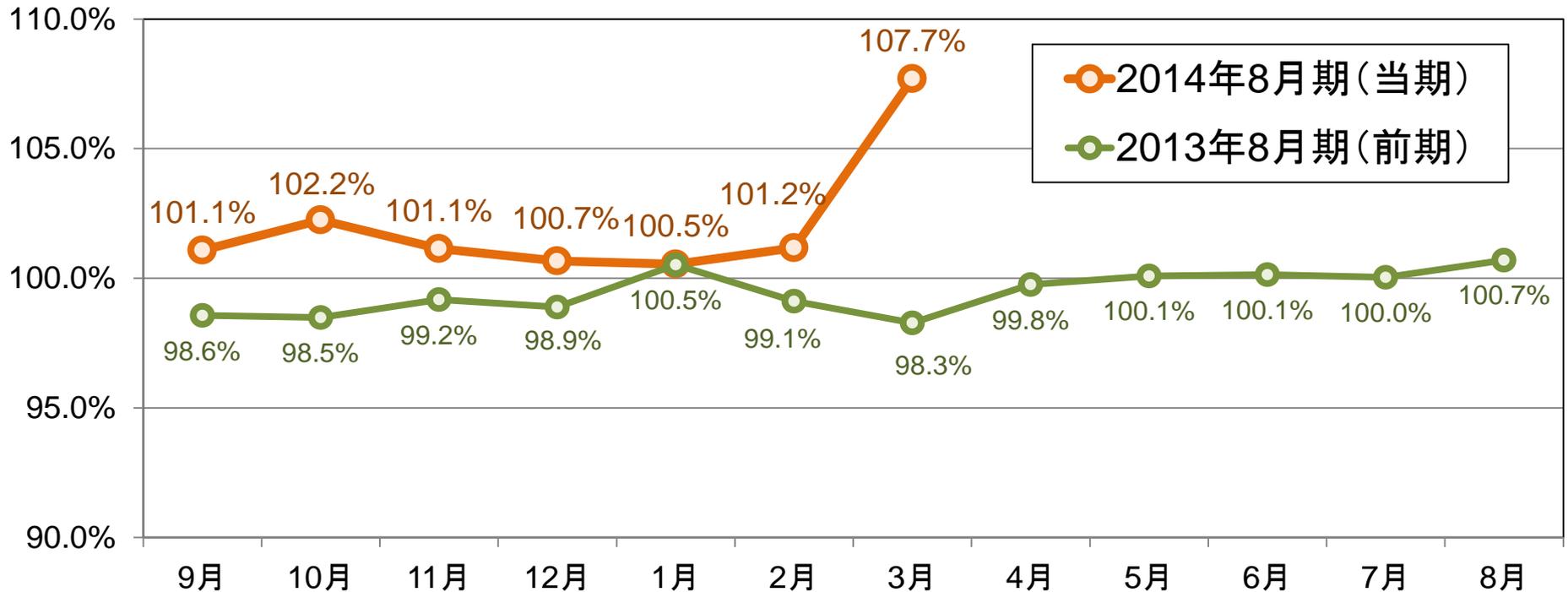


	上期	下期	通期
2013年8月期 (前期)	100.1%	100.2%	100.2%
2014年8月期 (当期)	99.9%	-	99.9%

✓ 計画の100%にわずかにとどかず、99.9%

※ 足許2014年3月は、消費増税前の駆け込み需要も寄与し、104.0%

既存店客単価伸び率 101.1% ← (13年8月期2Q 99.1%)



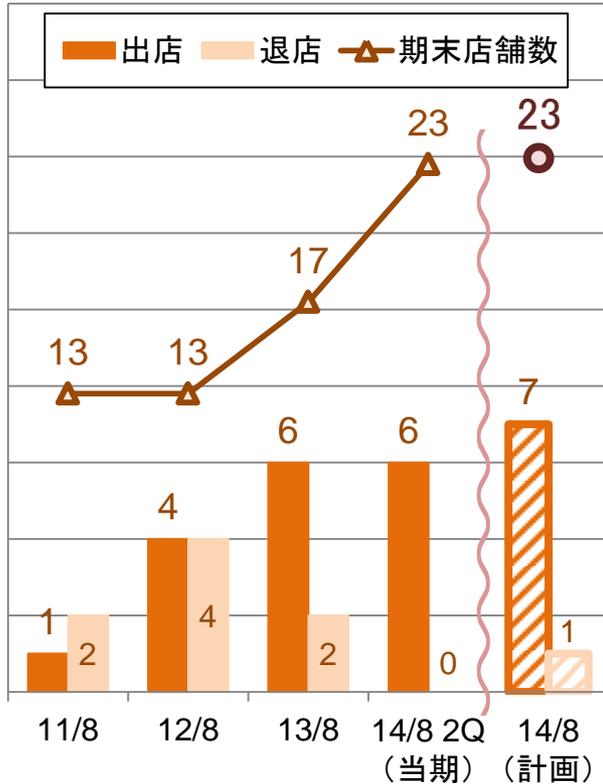
	上期		下期		通期	
	前年比	客単価	前年比	客単価	前年比	客単価
2013年8月期 (前期)	99.1%	353円	99.8%	352円	99.5%	353円
2014年8月期 (当期)	101.1%	358円	-	-	101.1%	358円

✓ 積極的な改装が寄与し、上期101.1%と順調に推移

※ 足許2014年3月は、消費増税前の駆け込み需要も寄与し、107.7%

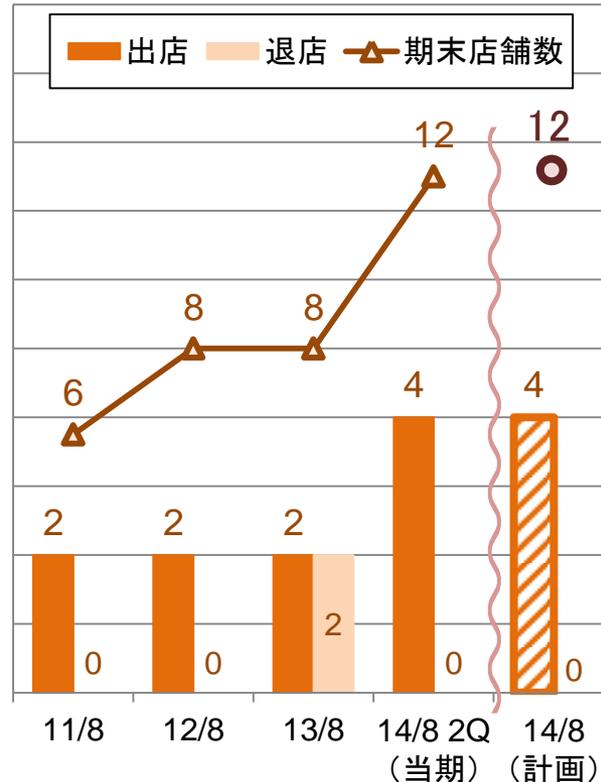
その他出退店推移

BuonaVita 店舗数推移



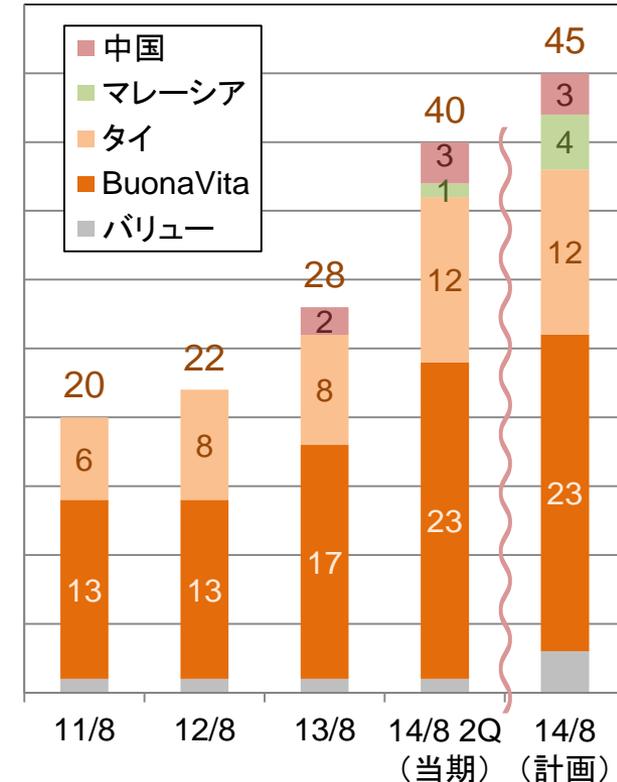
ブォーナ・ビータ:
 通期純増計画の6店舗をすでに達成
 さらなる店舗網拡大を目指す。

こものや(タイ) 店舗数推移



こものや(タイ):
 合併後、出店ペースが加速
 事業部ベースで安定的な黒字化達成

その他 店舗数推移



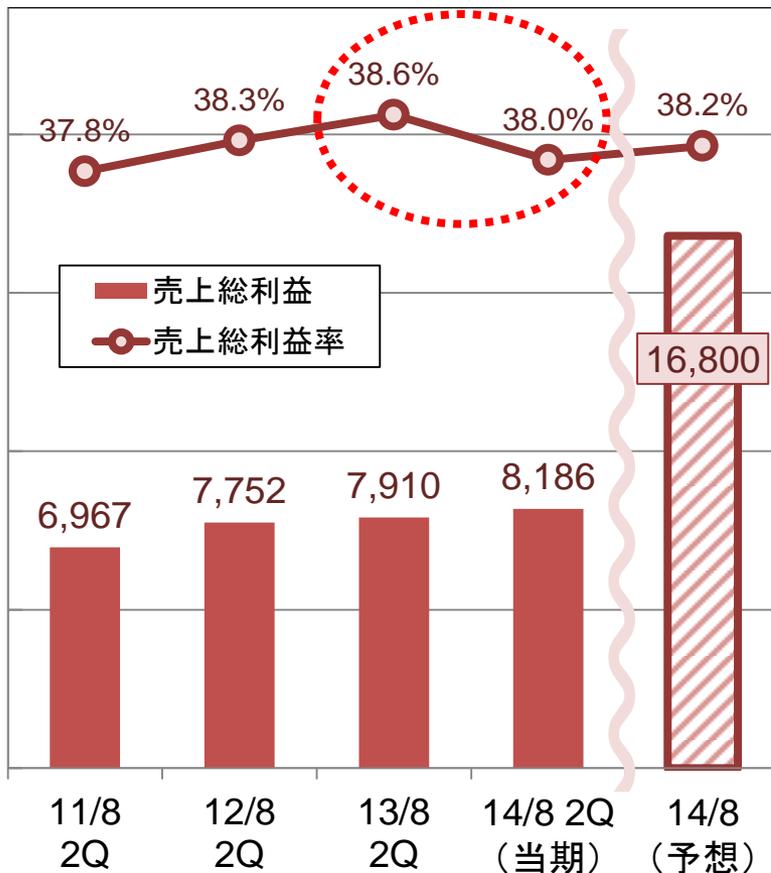
マレーシア:2013年11月 クアラルンプール
 近郊に1号店を出店。店舗ベースでは黒字

中国:2013年12月に3店舗目を出店

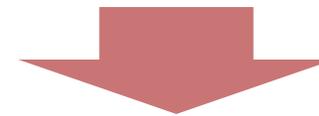
バリュー100:引き続き出店を目指し、合併
 相手との調整を継続。

売上総利益率は、0.6ポイント悪化

売上総利益



円安の影響を吸収しきれず、原価率の上昇から売上総利益率は前期比0.6ポイント悪化。



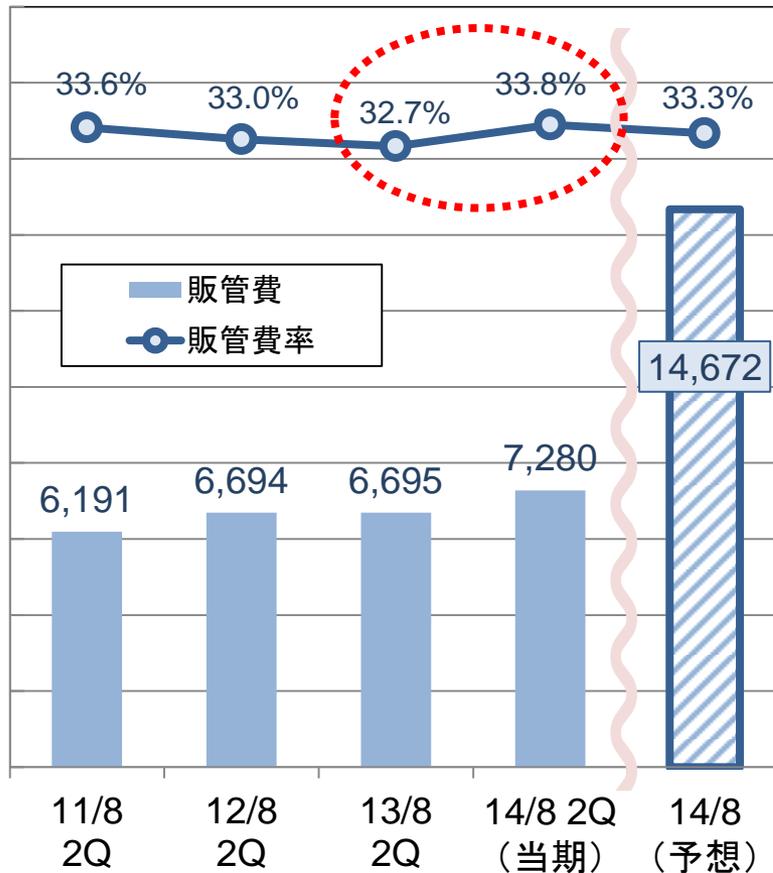
✓ 当社の仕入は、円建国内取引のため、為替の影響を直接は受けない。

しかしながら、仕入先は取扱商品の多くを中国を始めとする海外から輸入しているため、間接的には為替の影響を受けている。

仕入先とも協力して商品の見直しを図り、影響度合いを極力軽減させるべく努力していく。
加えて、雑貨売上比率も継続して増加させていく。

販管費率は1.1ポイントの悪化

販管費



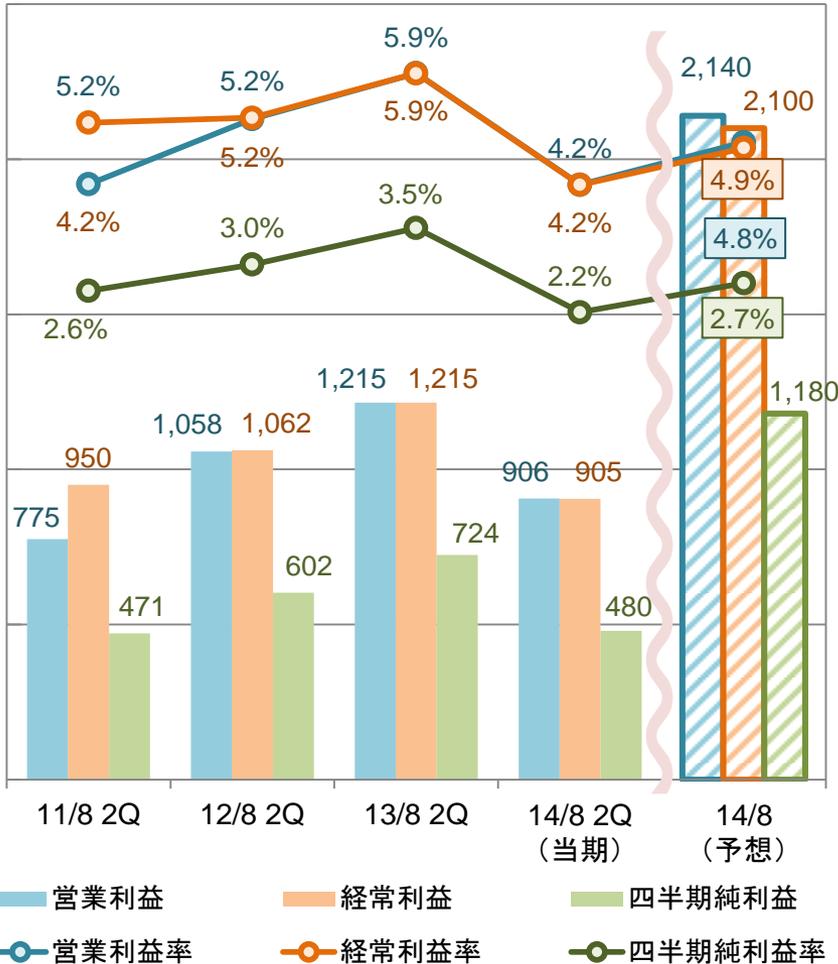
(単位: 百万円)

[内訳]	13/8 2Q	14/8 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	20,500	21,545	1,044	5.1%
販売費及び一般管理費	6,695	7,280	585	8.7%
給与	2,302	2,480	177	7.7%
地代家賃	2,287	2,439	152	6.7%
水道光熱費	402	432	29	7.4%
100円ショップ 直営店舗数(店)	794	889	95	12.0%

- ✔ 計画に対して前倒しで出店したこと、積極的に既存店の改装を実施したこと等により、販管費率は前年同期比1.1ポイントの悪化となった。

利益の推移

(単位：百万円)



	13/8 2Q	14/8 2Q (当期)	前期比増減
営業利益	1,215	906	△25.5%
営業利益率	5.9%	4.2%	△1.7ポイント
経常利益	1,215	905	△25.5%
経常利益率	5.9%	4.2%	△1.7ポイント
当期純利益	724	480	△33.6%
当期純利益率	3.5%	2.2%	△1.3ポイント

✓ 利益項目については、前年同期は出店ペースが遅かったため、コストが抑制された。対して、今期は出店ペースの加速が影響し、大幅な悪化となった。

貸借対照表

(単位:百万円)

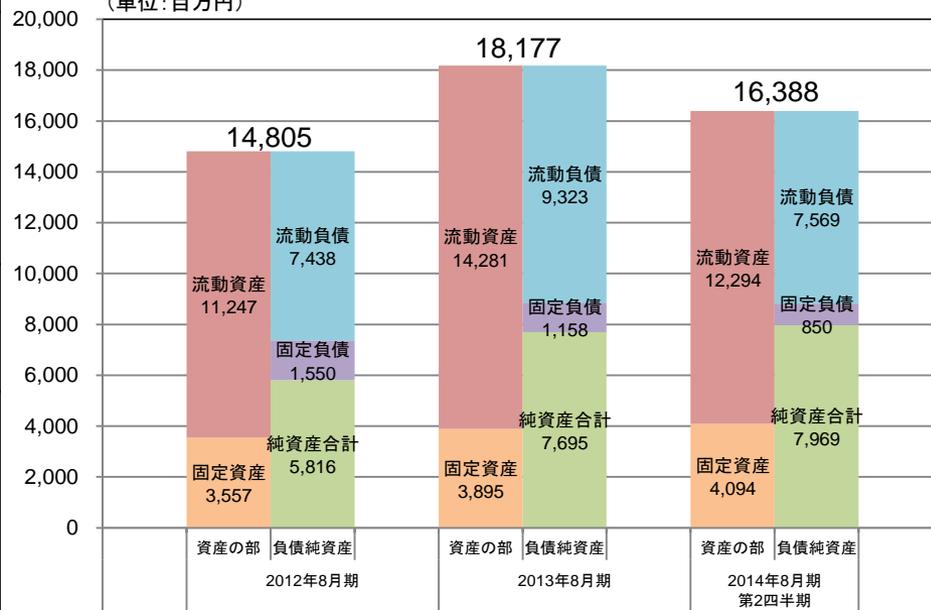
	2012年 8月期	2013年 8月期	2014年 8月期2Q (当期)	増減額	前期比増減
総資産	14,805	18,177	16,388	△ 1,788	9.8%減
流動資産	11,247	14,281	12,294	△ 1,987	13.9%減
現金及び預金	4,086	6,280	4,657	△ 1,622	25.8%減
受取手形及び売掛金	1,812	2,320	1,825	△ 494	21.3%減
商品及び製品	4,633	4,961	5,224	263	5.3%増
その他流動資産	715	719	585	△ 133	18.6%減
固定資産	3,557	3,895	4,094	198	5.1%増
土地建物	325	551	599	47	8.6%増
設備	451	449	514	64	14.3%増
のれん	44	0	0	—	—
差入保証金	2,450	2,474	2,527	52	2.1%増
その他固定資産	285	419	454	34	8.2%増
負債合計	8,988	10,481	8,419	△ 2,062	19.7%減
流動負債	7,438	9,323	7,569	△ 1,754	18.8%減
支払手形及び買掛金	4,433	6,578	5,407	△ 1,171	17.8%減
短期借入金	140	140	100	△ 40	28.6%減
1年内返済長期借入金	1,267	957	738	△ 219	22.9%減
未払法人税等	528	285	454	168	59.0%増
未払消費税等	254	61	53	△ 8	13.0%減
その他流動負債	813	1,299	815	△ 483	37.2%減
固定負債	1,550	1,158	850	△ 307	26.6%減
長期借入金	1,102	644	318	△ 326	50.6%減
資産除去債務	76	74	76	1	2.3%増
その他固定負債	371	439	455	16	3.8%増
純資産合計	5,816	7,695	7,969	273	3.6%増
株主資本	5,831	7,656	7,907	250	3.3%増
資本金	440	440	440	—	—
資本剰余金	876	1,583	1,583	—	—
利益剰余金	4,783	5,716	5,967	250	4.4%増
自己株式	△ 267	-84	-84	—	—
その他包括利益累計額	△ 15	77	123	45	58.5%増

☑ 総資産額は1,788百万円減少

前連結会計年度末日(8/31)が金融機関の休日であり、支払の多くが翌月に延びたことを主因として増加していた現金及び預金、受取手形及び買掛金、支払手形及び買掛金などが、当第2四半期連結会計期間末日は平日であったことにより通常の水準に戻った。

利益剰余金は着実に積み上がっており、借入金の返済が進んだことと相まって、自己資本比率は48.6%に上昇

(単位:百万円)



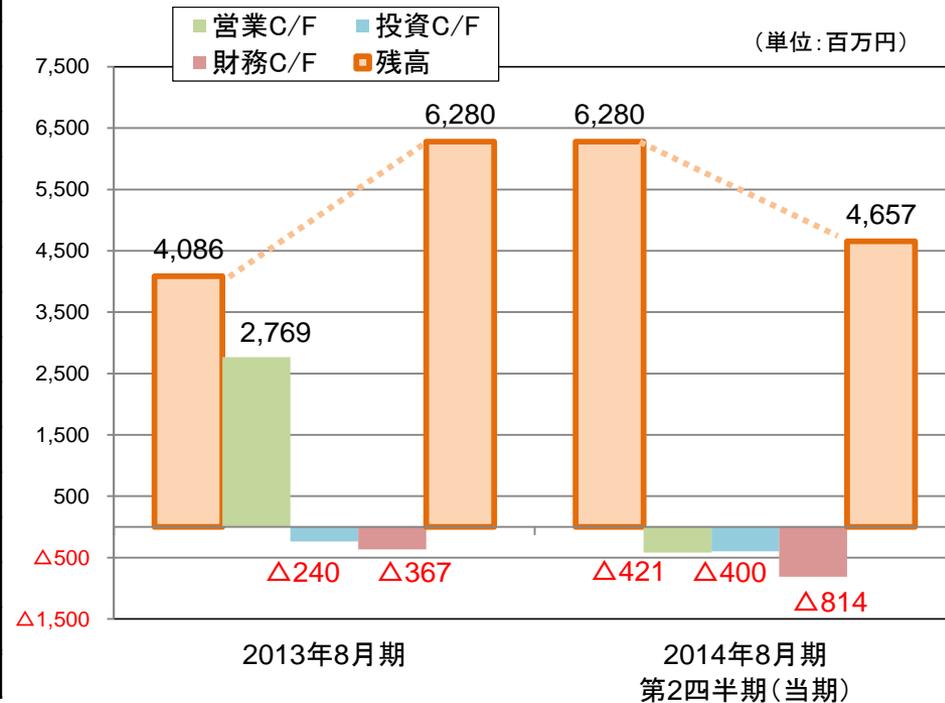
キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

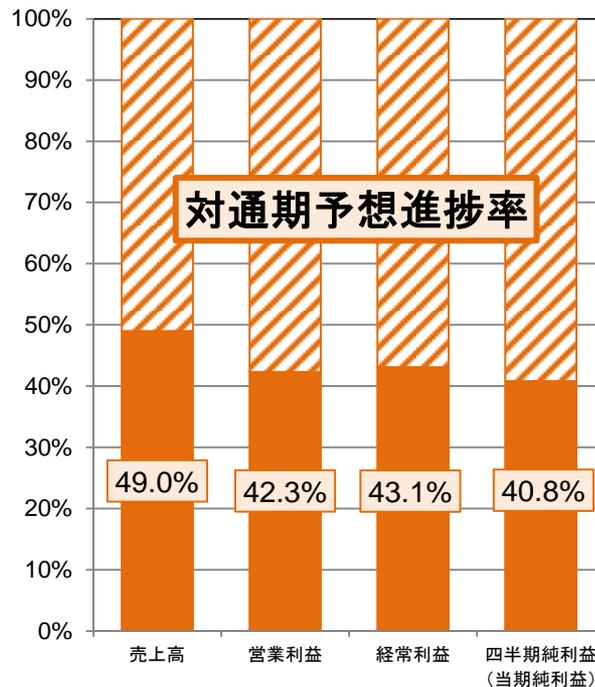
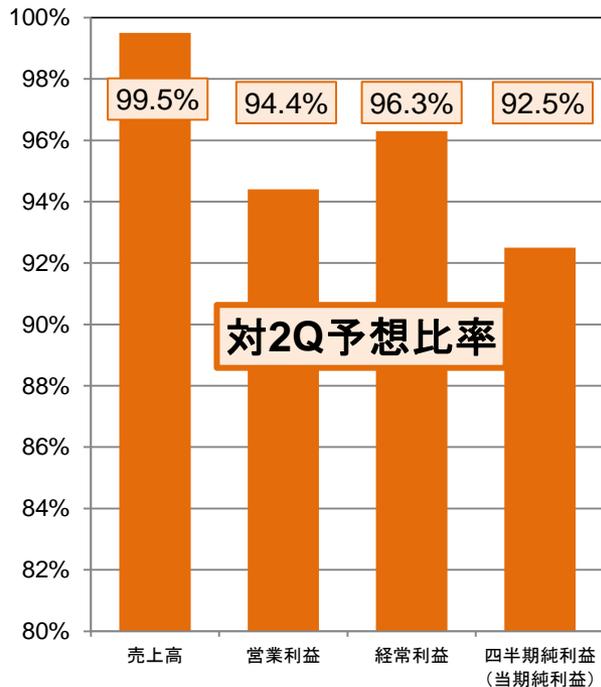
	2013年 8月期	2014年8月期 2Q(当期)	増減額	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	4,086	6,280	2,193	53.7%増
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,769	△421	△ 3,190	115.2%減
税金等調整前当期純利益	2,055	902	△ 1,153	56.1%減
減価償却費	237	115	△ 122	51.5%減
売上債権の増減額(△は増加)	△470	495	966	205.1%減
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246	△253	△ 7	2.9%増
仕入債務の増減額(△は減少)	2,100	△1,109	△ 3,210	152.8%減
法人税等の支払額	△1,238	△178	1,060	85.6%減
その他営業キャッシュ・フロー	331	△392	△ 724	218.3%減
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△400	△ 159	66.4%増
有形固定資産の取得による支出	△256	△275	△ 18	7.4%増
敷金及び保証金の差入による支出	△209	△119	90	43.2%減
敷金及び保証金の回収による収入	165	51	△ 114	68.9%減
その他投資キャッシュ・フロー	60	△57	△ 117	195.3%減
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367	△814	△ 446	121.4%増
短期借入金の純増減額(△は減少)	0	△40	△ 40	-
長期借入れによる収入	600	0	△ 600	100.0%減
長期借入金の返済による支出	△1,669	△545	1,124	67.3%減
配当金の支払額	△189	△229	△ 39	21.1%増
自己株式の売却による収入	891	0	△ 891	100.0%減
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	13	△ 18	57.2%減
現金及び現金同等物の期末残高	6,280	4,657	△ 1,622	25.8%減

☑ 現預金残高は1,622百万円減少

前連結会計年度末日(8/31)が金融機関の休日であり、支払の多くが翌月に延びた。当第2四半期連結会計期間末日は平日であったため、比較により売上債権、仕入債務が大幅に減少し、営業キャッシュ・フローは見かけ上マイナスとなった。



2013年8月期 連結業績予想の達成見込み **WATTS**



- ☑ 各項目、計画に対して若干の未達にとどまった。
- ・ 上期に出店を前倒したことによるコストの抑制
 - ・ 出店済店舗の売上、利益への寄与
 - ・ プロダクトミックス等による粗利の確保などにより達成可能と判断し、通期計画は据え置き

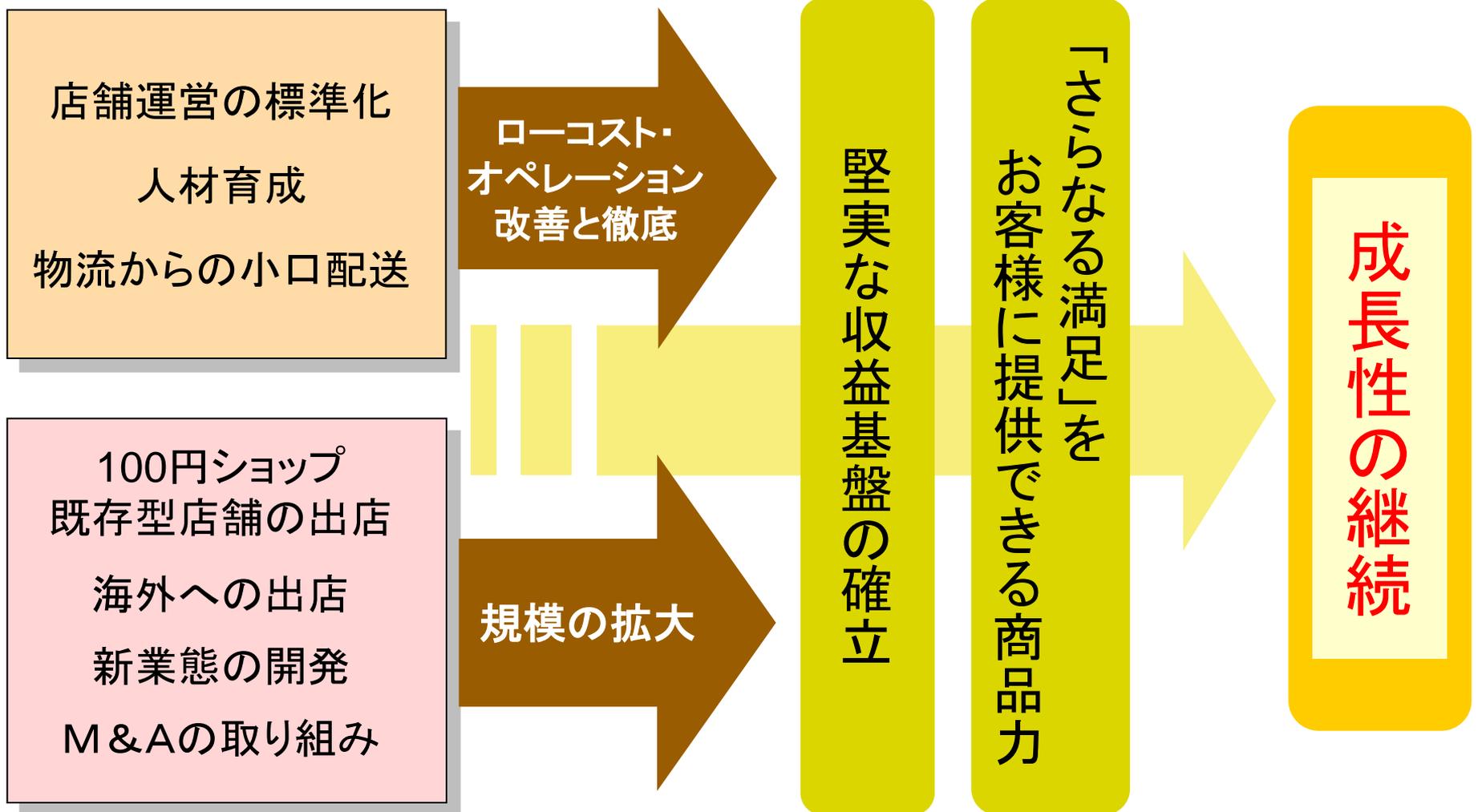
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益 (当期純利益)
2014年8月期 2Q実績	21,545	906	905	480
2014年8月期 2Q予想	21,650	960	940	520
2014年8月期 通期予想	44,000	2,140	2,100	1,180
対2Q予想 比率	99.5%	94.4%	96.3%	92.5%
対通期予想 進捗率	49.0%	42.3%	43.1%	40.8%

2014年8月期 第2四半期連結決算と 通期計画の進捗状況について	P 2 — P 16
--------------------------------------	------------

2014年8月期業績予想及び 中期事業計画(2014年～2016年)について	P 18 — P 28
---	-------------

(参考資料)	P 30 — P 41
--------	-------------



実生活雑貨の分野において、
量・品質ともに圧倒的なお買い得感のある商品群を持つ
「実生活雑貨におけるNo.1企業」になり、
お客様から「実生活雑貨はmeets.・シルクで」
という評価を得られる小売企業を目指します！



100円均一の**実生活雑貨**で**満足度No.1**になる！



100円で「**100円以上の価値**」を提供し続ける！

国内

- 2012年11月を底に景気回復局面入り
- アベノミクスの一連の景気刺激策による株価上昇と円安の定着によるマインドの向上を受け、比較的堅調に推移。
- 引き続き東日本大震災の復興需要が見込まれることや大型の補正予算が盛り込まれる見込みであり、景気回復傾向は継続すると思われる。
- 2014年4月に実施される消費税率の引き上げは、直前の駆け込み需要が見込まれる一方で、実施後の反動減が予想されるものの、影響は限定的と思われる。

依然として雇用環境・世帯所得の改善には尚しばらく時間がかかる

100円ショップへのニーズは堅調

海外

- 欧米経済はとも緩やかな回復基調にある。
- アジア経済は中国が成長率鈍化しつつも、比較的堅調に成長持続することが予想されるが、アセアン諸国では成長の鈍化、インフレ高進と通貨安の進行により、国別に濃淡が出やすい状態ではあるが、購買力のある層は確実に存在する。

一層の成長のためには海外市場開拓と展開が必要

基本戦略



出店戦略

地域特性に合わせたローコスト出退店

運営戦略

顧客サービスの質を維持したローコスト・オペレーション

商品戦略

お買い得感のある実生活雑貨を中心とした品揃え

国内 成長戦略

- インショップ型小型店舗の多店舗出店の継続
- 店頭適正在庫の追求
- 出店環境に対応した出店ロケーションの見直しと出店エリアの拡大
- PB商品「ワッツセレクト」の更なる競争力の強化
- 100円ショップ事業を補完する新業態の開発と収益性の追求
～含むM&Aの機会補足

海外 成長戦略

- タイワッツの出店ペース加速化
- マレーシアでの多店舗展開
- 中国でのビジネスモデルの確立と多店舗展開
- 中国物流倉庫の活用による調達コストの低減
- 徹底した市場リサーチに基づく、新規進出先の選定



1

ローコスト出退店

- ・ 新店への投資額が少ない
- ・ 退店時の損失が少ないため、迅速な撤退が可能

2

ローコスト・オペレーション

- ・ 運営コストが小さいため、低い売上高でも利益の確保が可能

3

お買い得な実生活雑貨

- ・ ローコスト運営で生み出した利益を商品開発へ投入

○ 中小型店舗を多店舗展開

- ✓ 平均230㎡(他社は330~1,000㎡)の店舗展開。
- ✓ 他社と競合しにくい物件のため、好条件で出店可能。
- ✓ 毎年約100店舗を出店。

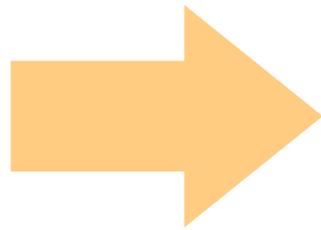
○ 不採算店舗の積極的な退店

- ✓ 資産を極力持たず、退店条件も緩く、迅速な判断が可能。
- ✓ 毎年約40店舗を退店。

既存店100%を維持しながら
出店による+α を積み上げる。

○ ムリ・ムダ・ムラの徹底排除

○ 「単純化」「標準化」⇒マニュアル化



- ✓ パート・アルバイトを中心とした運営
- ✓ スーパーバイザーが複数の店舗を担当
- ✓ 作業よりも接客に力を入れた店舗運営

小規模店舗でも利益の出る体質を強化し、
多店舗展開を可能にする運営力を身につける



ローコスト出退店、ローコスト・オペレーションで
生み出した利益を、お買い得な商品の開発へ



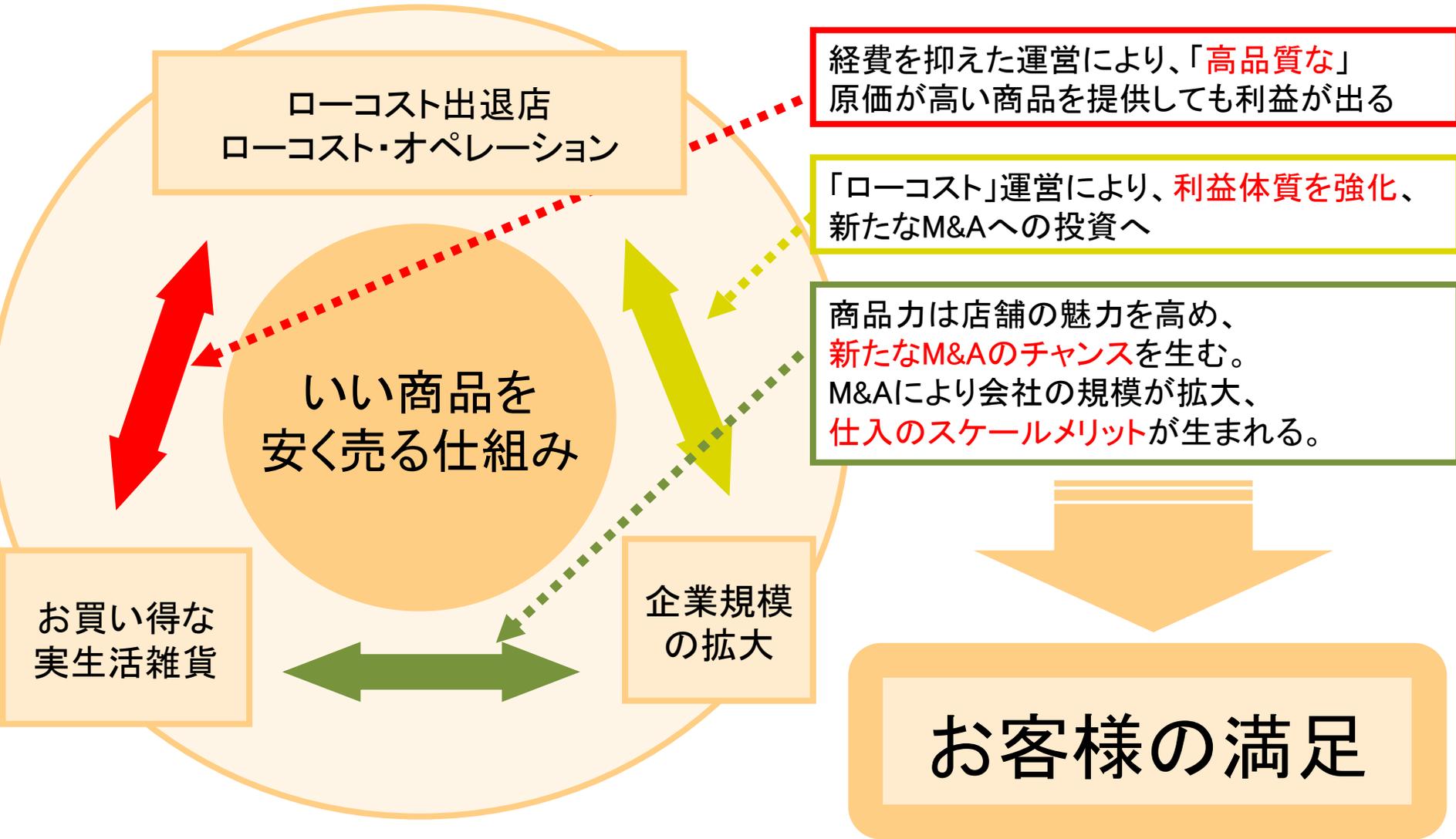
品質(安全・安心してお使い頂ける商品)にこだわったワッツが自信をもってオススメする商品。それが「ワッツセレクト」です。

台所用品、掃除用品、衛生用品、レジャー用品等の実生活雑貨を中心に2010年8月期から開発を進め、2014年2月現在195アイテム。



引き続き開発を進め、お買い得な商品を提供してまいります。

いい商品を安く売る仕組み



海外戦略

タイ



平成26年2月現在 12店舗

マレーシア



平成26年2月現在 1店舗



中国



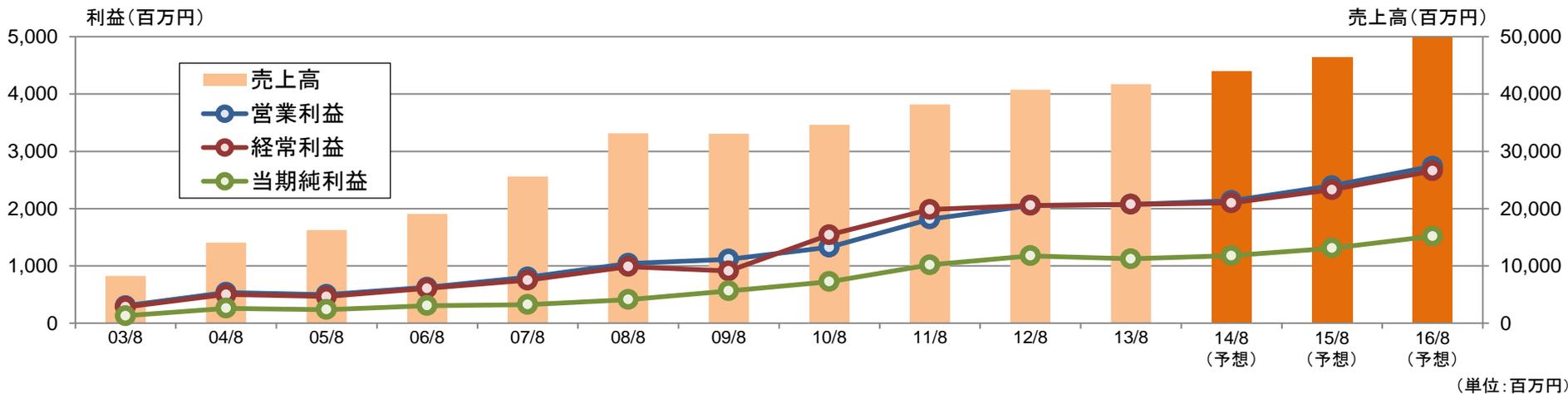
平成26年2月現在 3店舗

ベトナム



平成26年2月現在 1店舗
(現地パートナーとの協業)

中期事業計画 3ヶ年業績予想



	2012年8月期(実績)			2013年8月期(実績)			2014年8月期(予想)			2015年8月期(予想)			2016年8月期(予想)		
		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比	前年比
売上高	40,759	—	106.7%	41,725	—	102.4%	44,000	—	105.5%	46,470	—	105.6%	49,870	—	107.3%
売上総利益	15,591	38.3%	107.4%	15,981	38.3%	102.5%	16,800	38.2%	105.1%	17,890	38.5%	106.5%	19,310	38.7%	107.9%
営業利益	2,056	5.0%	113.1%	2,074	5.0%	100.9%	2,140	4.9%	103.1%	2,400	5.2%	112.1%	2,740	5.5%	114.2%
経常利益	2,055	5.0%	103.5%	2,075	5.0%	101.0%	2,100	4.8%	101.2%	2,330	5.0%	111.0%	2,660	5.3%	114.2%
当期純利益	1,177	2.9%	115.6%	1,123	2.7%	95.4%	1,180	2.7%	105.0%	1,310	2.8%	111.0%	1,520	3.0%	116.0%
ROE	22.2%		—	16.6%		△ 5.6ポイント	14.4%		△ 2.2ポイント	14.2%		△ 0.2ポイント	14.5%		0.3ポイント
計画前提															
100円ショップ 期末店舗数(店)	822	—	—	901	79	—	960	59	—	1,019	59	—	1,078	59	—
100円ショップ 既存店伸び率	100.5%	—	—	99.5%	△ 1.0ポイント	—	100.0%	0.5ポイント	—	100.0%	0.0ポイント	—	100.0%	0.0ポイント	—
新業態 期末店舗数(店)	24	—	—	28	4	—	46	18	—	70	24	—	98	28	—
新業態 売上シェア	6.5%	—	—	6.5%	0.0ポイント	—	6.6%	0.1ポイント	—	8.3%	1.7ポイント	—	11.8%	3.5ポイント	—
うち海外事業 期末店舗数(店)	8	—	—	10	2	—	20	10	—	36	16	—	56	20	—
海外事業 売上シェア	0.6%	—	—	0.9%	0.3ポイント	—	1.4%	0.5ポイント	—	2.9%	1.5ポイント	—	4.4%	1.5ポイント	—

2014年8月期 第2四半期連結決算と 通期計画の進捗状況について	P 2 — P 16
--------------------------------------	------------

2014年8月期業績予想及び 中期事業計画(2014年～2016年)について	P 18 — P 28
---	-------------

(参考資料)	P 30 — P 41
--------	-------------

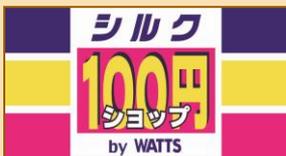
- ワッツブランド
- 会社概要
- 業界動向 業界ポジショニング
- 業界動向 市場規模
- 当社の歩み
- その他 概要
- ワッツセレクト 売れ筋 TOP3
- ワッツセレクト イチオシ商品
- 株主構成
- 配当政策
- 株主優待制度の導入



ワッツブランド



100円ショップ事業



KOMONOYA
OSAKA JAPAN



その他



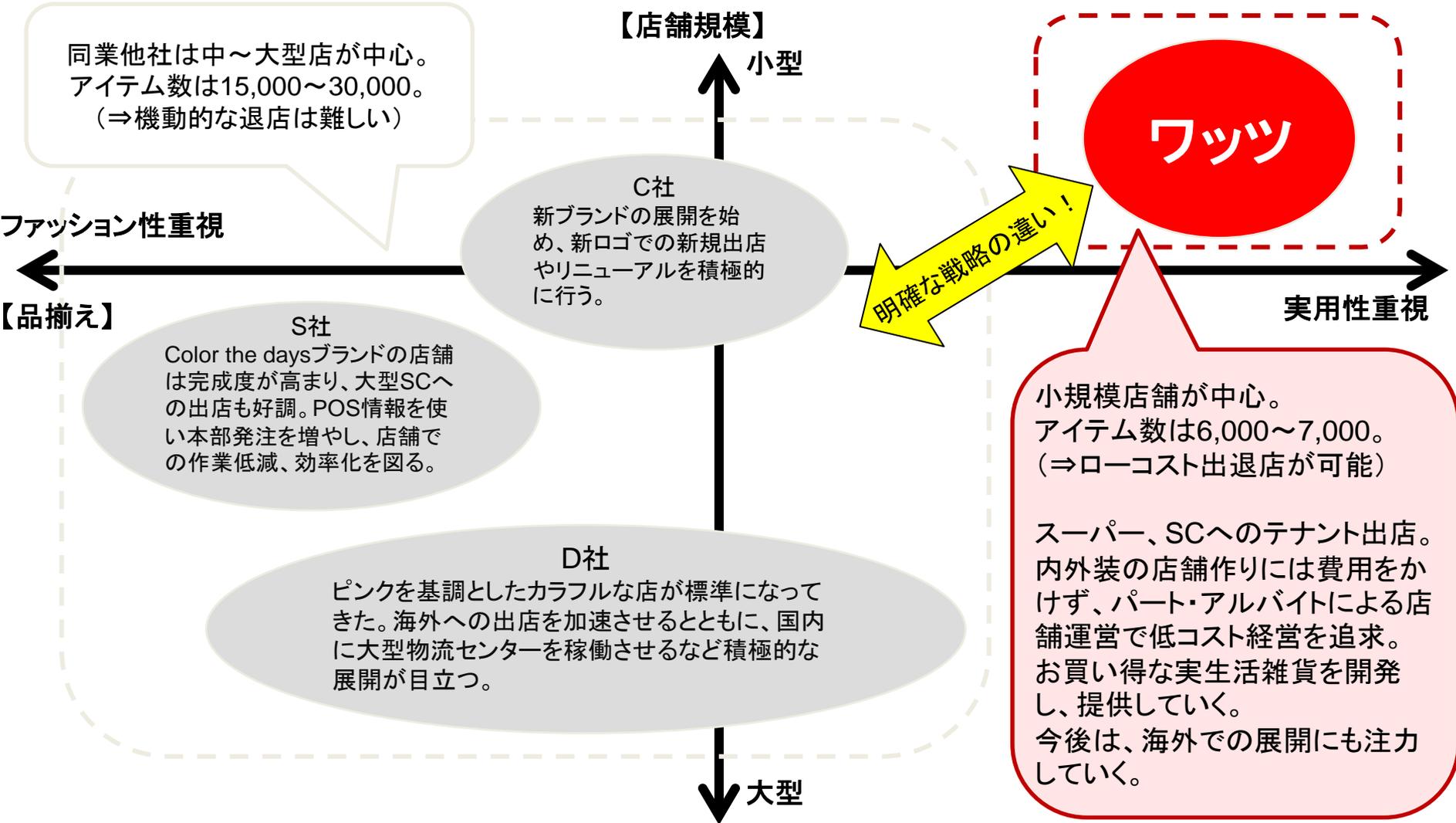


会社概要



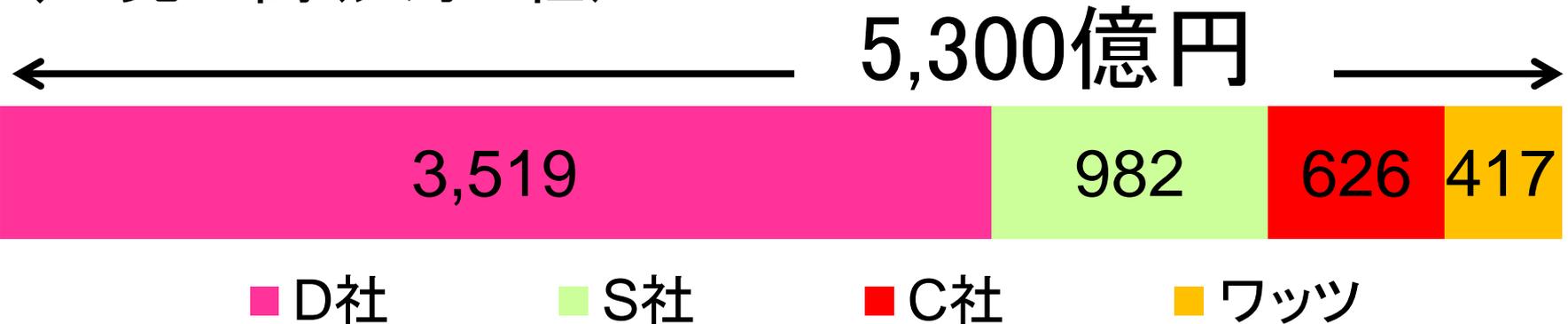
設立	1995年2月22日（※ 2014年度は第20期）
社名の由来	おもろいことを「ワツ」とやろう！
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 2735)
資本金	4億4,029万円(14/2/28現在)
本社所在地	大阪府大阪市中央区城見一丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル5階
主な業務	日用品・雑貨の卸小売業 (主に100円ショップ「ミーツ」、「シルク」の運営)
グループ従業員数	2,764名(14/2/28現在) ※パート・アルバイトを含む
グループ店舗数	983店(14/2/28現在) ※その他店舗を含む

業界ポジショニング ー他社比較ー

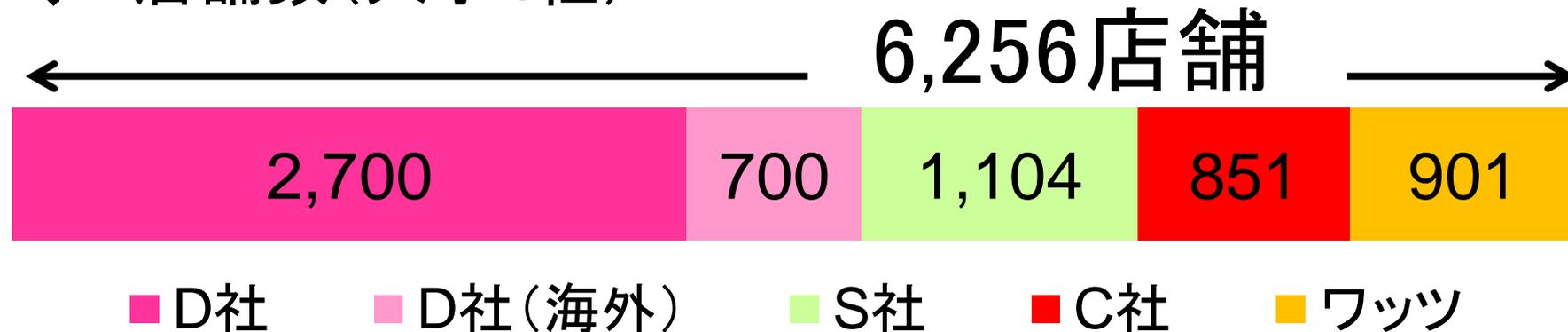


※参考資料:各社のホームページ、新聞、決算短信等より当社にて独自に作成したものであります。

◇ 売上高(大手4社)



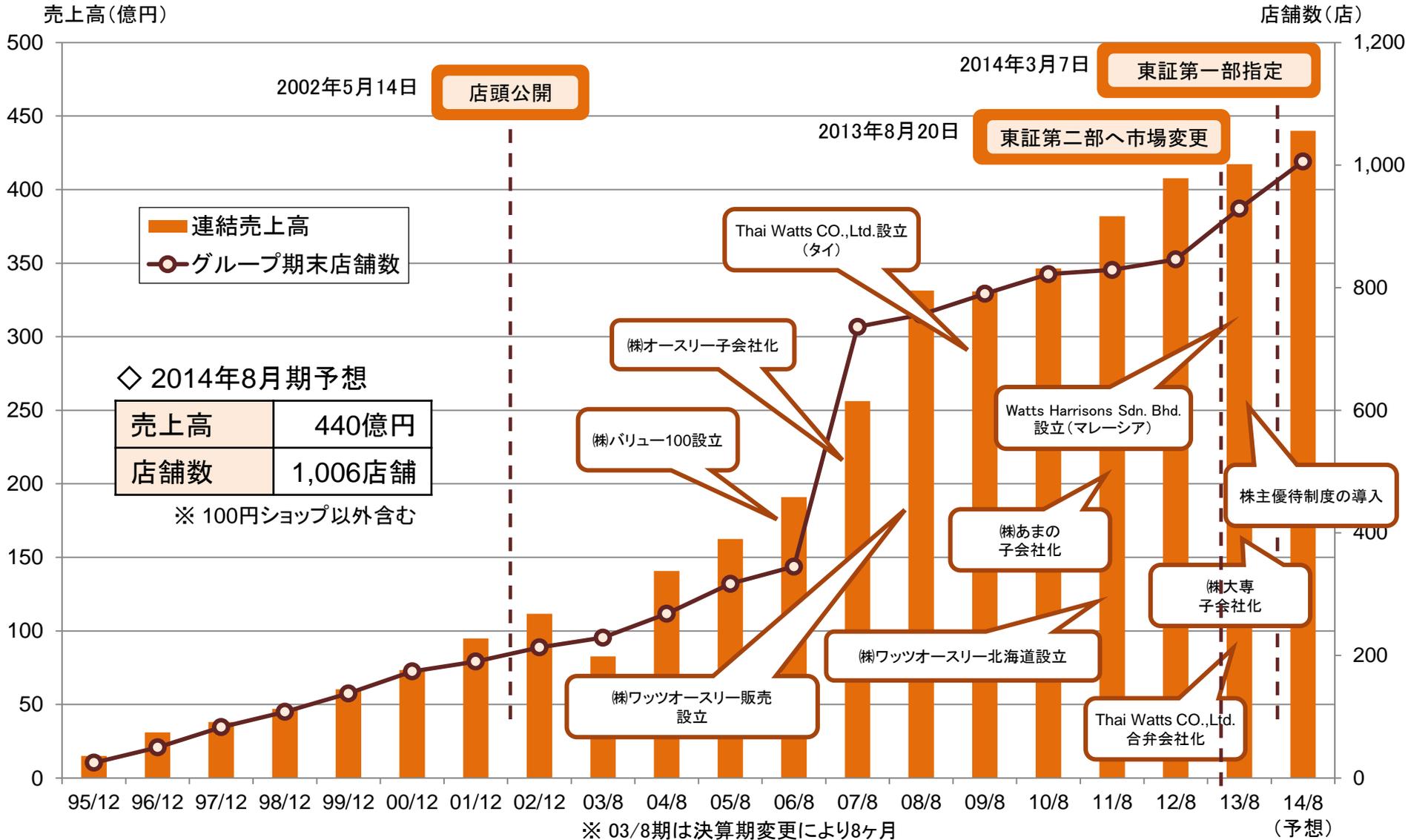
◇ 店舗数(大手4社)



※参考資料: 各社のホームページ、新聞、決算短信等より当社にて独自に作成したものであります。



当社の歩み



その他 一概要一



ーバンコクでの雑貨販売ー
使い心地のいい和雑貨のある
生活を提案
12店舗 (14/2月末)

ーナチュラル雑貨販売ー
Buona Vita=心地よい生活
を提案
23店舗*FC2店舗含む (14/2月末)

その他



ーバリュー100ー
小規模店舗で価格競争力のある
食品と100円雑貨を提供
1店舗 (14/2月末)

ーナチュラルエレガント雑貨の輸入卸ー
3店舗 (14/2月末)

第1位 フローリング用水拭き雑巾がけシート



30枚入

第2位 極厚除菌アルコールウェット



24枚入

第3位 アルカリ乾電池（単3形）



増量6本入

ワッツセレクト ーイチオシ商品ー

1

60m ポリエチレンラップ



品質(安全・安心してお使い頂ける商品)にこだわった、ワッツが自信をもってオススメするお買得商品。

2

折りたたみ角ハンガー24P パールブルー

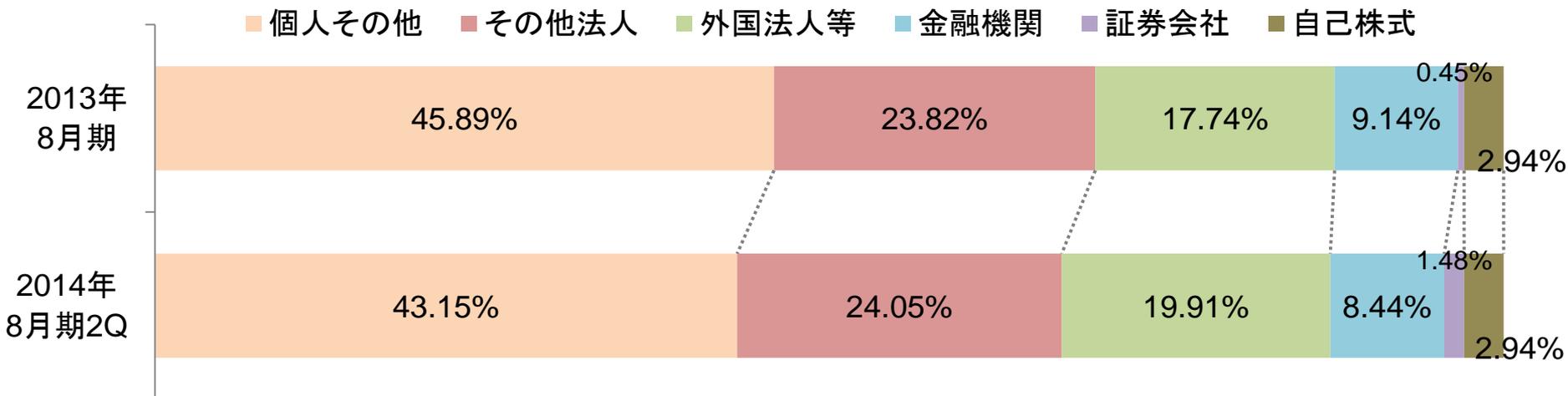


3

紙コップ



株主構成



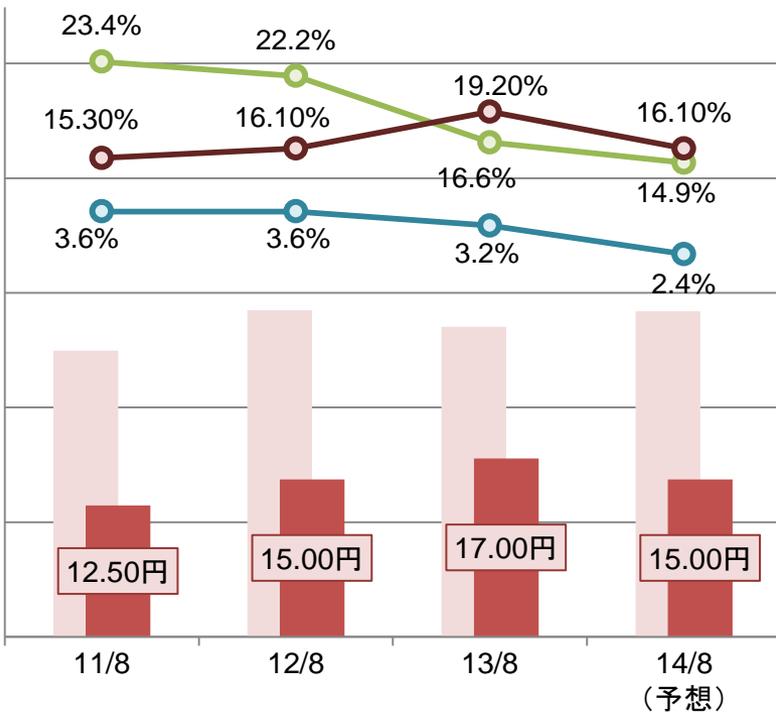
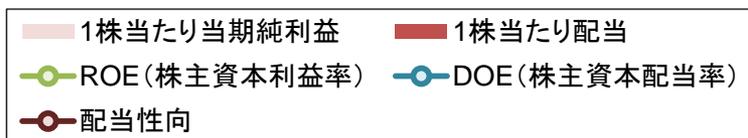
	2013年8月期	2014年8月期 第2四半期	前年比
発行済株式総数	13,958,800株	13,958,800株	—
株主数	3,759	3,763	4
所有比率			
個人その他	45.89%	43.15%	△ 2.74 ^{ポイント}
その他法人	23.82%	24.05%	0.23 ^{ポイント}
外国法人等	17.74%	19.91%	2.17 ^{ポイント}
金融機関	9.14%	8.44%	△ 0.70 ^{ポイント}
証券会社	0.45%	1.48%	1.03 ^{ポイント}
自己株式	2.94%	2.94%	—

✓ 平成26年3月7日付にて東証第一部銘柄に指定されております。

(注) 小数点第3位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

配当政策

ワッツは、「安定した配当を継続して行う」ことが、株主の皆様への利益還元であると考えています。



	2011年 8月期	2012年 8月期	2013年 8月期	2014年 8月期 (予想)
1株当たり当期純利益	81.84円	93.31円	88.63円	93.07円
1株当たり配当	12.50円	15.00円	17.00円	15.00円
配当性向	15.3%	16.1%	19.2%	16.1%
配当利回り	3.1%	3.0%	1.9%	1.9%
ROE (株主資本利益率)	23.4%	22.2%	16.6%	14.9%
DOE (株主資本配当率)	3.6%	3.6%	3.2%	2.4%

※ 2013年3月1日付、1:2の株式分割を実施しているため、1株当たり当期純利益および1株当たり配当は遡及処理後の数値を記載

※ 2014年8月期予想配当利回りは2014年2月28日の株価を用いて算出

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

説明内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先：

株式会社ワッツ 森 秀人(取締役経営企画室長)

e-mail : ir@watts-jp.com

TEL : 06-4792-3280